

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会(メールボックス)  
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目 次 ◆
- 活 動 報 告
- お 知 ら せ

♪ホームページ折々に更新中！  
『箕面ユネスコ協会』  
で検索してください♡

●ネパールより元気に帰国！応援いただいた皆様、ありがとうございます



## ネパール ボランティアスタディツアーを無事に終わりました！

大阪のユネスコスクールの高校生、大学生、社会人や名古屋ユネスコ協会からも参加いただき、箕面ユネスコスタッフ含め 11 名全員が無事に 3 月 17 日～23 日の 7 日間ツアーを終え、帰ってくる事ができました。皆様に感謝するとともに心底ホッとしております。当初より計画していたホームステイ・学校交流と衛生に関するワークショップもやり遂げ、ネパール奥地での生活をしっかりと体験し、村の人とふれあい、密度の濃い素晴らしいツアーになりました。クラウドファンディングで皆様にご協力いただき、多くの方への呼びかけで歯ブラシ 1000 本を現地に運び配布することができました！（参加者の葉月ちゃん経由で 600 本以上も！）日本に

いる日常とは全く違う環境で、言葉も通じず文化も違う数日間を過ごし切ったみんなからの感想文を読んで、本当に洞察力・観察力の深さとその視点に感動しました。今回私たちが行くことで、現地の多くの学生、学校の先生、村人に影響を与えたことは間違いありません。私たちもこの経験を誰かに伝え、あるいは何かをはじめのきっかけになり、影響の輪が自然と広がっていく活動を今後も続けていきたいなと思っております。今年のネパールツアーは、日本からもネパールからも思いを沢山いただき、もう胸がいっぱいです！  
(山田 祐加)



♪歯ブラシを学校に届けました！



♪おり紙も折りました

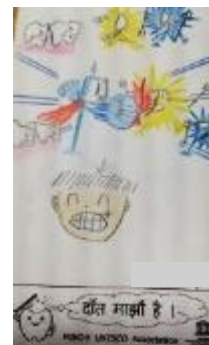
♪ホームステイは 一家族に1人です

♪体を張って、授業に臨みました！みんな真剣に教わっています



● 箕面市立萱野小学校4年生 ●  
「ネパール「はみがきおうえんカード」」制作

3月7日、4年生のみなさんに、ネパールで行う「手洗い・はみがきワークショップ」についてお話ししました。これまでも、書き損じハガキを集めるなど、自分たちにできることを考えてきた子どもたちは、さっそくネパールに持参するはみがきセットにそえる「おうえんカード」を作成してくださいました。一人ひとりの気もちのこもったすてきなカードです。みなさん、ありがとうございました！



● 箕面市立豊川北小学校5年生 ●  
能登半島地震への募金活動

10月に箕面ユネスコ協会と出会って以来、5年生のみなさんは、防災についての学びを深め、劇などさまざまな形で発信するなどの活動を重ねてこられました。そんな中、能登半島地震での大変な被害の報に接し、自分たちにできることをと、3学期が始まってすぐに募金活動にとりくまれたとのこと。2月14日には、1月2月に行った珠洲市でのボランティア活動のようすと今回の地震の厳しさを伝えました。子どもたちからは、73472円もの義援金をお預かりしました。お年玉ふくろもたくさんあり、子どもたちの思いが伝わってくる募金でした。復興支援に役立ててもらえるように直接被災地に直接届けることを約束しました。



23年度も、各校で全校や保護者、地域に呼びかけていただき、たくさんの書き損じハガキを集めていただきました。4校のみなさんには、日本ユネスコ協会連盟並びに大阪府ユネスコ連絡協議会からの感謝状をお渡ししました。また、リーフレットコンクールにエントリーくださった北小、南小の子どもたちには、日ユ連盟からの賞状を渡しました。ユネスコ世界寺子屋運動へのご協力に感謝いたします。（大濱 淳子）



● 北小学校/南小学校/彩都の丘学園 5年生 萱野小学校/4年生 ●  
書き損じハガキの収集 ありがとうございました



23年度も、各校で全校や保護者、地域に呼びかけていただき、たくさんの書き損じハガキを集めていただきました。4校のみなさんには、日本ユネスコ協会連盟並びに大阪府ユネスコ連絡協議会からの感謝状をお渡ししました。また、リーフレットコンクールにエントリーくださった北小、南小の子どもたちには、日ユ連盟からの賞状を渡しました。ユネスコ世界寺子屋運動へのご協力に感謝いたします。（大濱 淳子）



## ○ 3.11 を忘れない & 能登地震チャリティー物産展

3月24日、北急開業祝賀イベントとして、箕面市民活動センターで被災地支援チャリティー物産展と被災地支援のようすのパネル展示を開催しました。さらに防災啓発ブースでは、ユースの水野君とユネスコメンバーでもある市民活動センターの塩山さん、平井さんのアルファ化米の炊き出しをデモンストレーションが大盛況でした。

あいにくの雨と橋の工事で開業イベントの中心会場からは離れていましたが、市民活動センター内で紙芝居やスタンプラリーのポイントとなっていたこともあり、沢山の方々が足を止めて下さり、上島市長にも来ていただきました。



今回はいつもの気仙沼の物産に加えて、坂口会長が能登の被災地に足を運んだ時に繋がった「能登観光情報ステーション

たび」の与野井さんから、お勧めの品を送っていただき、能登の物産も販売しました。前日にネパールボランティアツアーから帰ってきた坂口会長が、ネパールのはちみつを調達して限定販売もしました。能登の物産は今回初めてで、現地で調達する気仙沼の物産とはちがい、まだまだ説明不足ではありましたが、これから

長く続く復興支援と共に深めていきたいと思いましたが、毎回足を運んで下さる方はもちろんのこと、何か支援したいと初めて物産品を手にした方々と物産展を通じて、被災地のことを忘れない思いを共有し、繋がっていくということを、これからも継続していきたいと思いを。

(石橋 晴代)



## ● ゆるやかなネットワーク…ぴあぴあ食堂



3月27日(水)らいとぴあ21にてぴあぴあ食堂のお手伝いに行ってきました。メニューは「ハヤシライス・プライドポテト・フルーツカクテル」です。調理中の香りに誘われて、子どもたちが『今日のメニューは何?』とお待ちかねのようす。

『ハヤシライスだよ〜!』と答えると『やった〜!!』とスキップしながら戻っていきました♪(かわいい♡)

今回もおかわり続出で、子どもたちの『美味しかったよ〜。』の音が嬉しかったです。



一緒にいただきます…

## ● 能登へ! 「つばさネットワーク」高校生ボランティア

◆ 2024/3/29~3/31 能登半島 石川県 珠洲市でボランティア!



1月1日16時10分に石川県能登地方で震度7を観測した能登半島地震では、甚大な被害が発生しました。北摂つばさ高校の「つばさネットワーク」は、2023年3月11日起きた東日本大震災のときに「何かしなければ」という思いで、発災から約50日で現地に支援ボランティアへ行きました。この13年間先輩たちの思いを引き継いできた

後輩たちが

東北へ行き続けてきています。能登地震でも役に立ちたいとの思いで支援へ向かいました。発災から2カ月の末だに断水が続き、瓦礫が手つかず状態をみて驚く高校生が、撤去作業に入っ



たお宅の方から「本当にありがとうございます」の言葉を受け来てよかったとの声を聞きました。復旧、復興まで多くの時間が掛かりそうです。さらにアサンプション国際小学校・中学校・高等学校、箕面市立豊川北小学校、北新地のお店などから預かった支援金を能登の珠洲市災害ボランティアセンターの塩井こと務局長へ、今回ボランティアで行った高校生と一緒にお渡ししました。(坂口一美)

## お米寄贈プロジェクト~今できること! ~「子ども食堂」へ毎年恒例のお米の寄贈~



毎年、企業から箕面ユネスコ協会を通じて社会貢献の一環で30kgのお米を今年も2月に届きました。いただいたお米は、主に子ども食堂の活動にお渡ししています。今年のお米の提供先は、企業ではなく岡山県備前市穂浪井田地の農家の皆さんからの寄付米です。農家を代表して池上さんが、みのお市民活動センターにお米を運んで



くださいました。このお米は子ども食堂を運営している市内の2団体にお渡しすることができました。一つは、「みのお東子ども食堂の会」箕面東地域の子どもたちを対象に、月1回第4土曜日開催。地域住民の交流の場所になっています。もう一つは、「シルバードバイザー箕面・豊能」で、子ども食堂、手作りおもちゃ食堂、歌体操、歌声ひろばなど、子どもや親子、高齢者や障がいのある方などを対象にイベントを通して支援活動を展開しています。いただいたお米は、3月以降の子ども食堂の開催時においしいご飯として提供される予定です。(須貝 昭子)



## ● ネパール・ボランティア スタディツアー

多くの皆様にクラウドファンディングに協力していただき、ありがとうございました。心より感謝いたします。まもなく、ツアーのご報告とリターンの発送をさせていただきます。

